

1 原始時代の日本

- (1) 群馬県の(**岩宿遺跡**)は旧石器時代の遺跡で、打製石器が出土している。
- (2) 日本は約1万年前で大陸と地続きで、大陸の(**ナウマン象**)の化石が出土している。
- (3) 縄文時代になると新石器時代に入り、(**磨製石器**)が使われるようになった。
- (4) 青森県の(**三内丸山遺跡**)は縄文時代の遺跡で、貝塚や堅穴住居の跡が発見された。
- (5) 静岡県県の(**登呂遺跡**)は弥生時代の遺跡で、稲作の跡や青銅器が発見された。

2 大和朝廷の成立

- (6) 1世紀半ば、(**委奴国王**)は後漢(中国)の光武帝から金印を与えられた。
- (7) 3世紀ごろ、(**邪馬台国**)の卑弥呼は、占いで30ほどのくにを従えていた。
- (8) 4世紀末までに、大王は有力豪族を従えて国土を統一し、(**大和朝廷**)を築いた。
- (9) 大和朝廷の大王は、有力豪族を(**氏姓制度**)によって支配した。
- (10) 大王や豪族の墓として、大仙古墳などの巨大な(**前方後円墳**)が作られていた。

<ワンポイント解説>

- ... 相沢忠洋によって発見された。
- ... ナウマン象は海を渡れないことから、日本が大陸と地続きであった証拠とされている。
- ... 縄文時代には土器が作られるようになり、食料の保存や煮炊きに使われていた。
- ... 縄文時代は狩猟・採集の生活が営まれ、身分差はあまりなかった。
- ... 弥生時代になると農耕が始まり、貧富や身分の差が生まれていった。
- ... この頃、日本は100あまりのくにに分かれていたという。
- ... 邪馬台国の場所は、北九州か大和地方のどちらかだと言われている。
- ... 大王は「おおきみ」と読む。
- ... 血縁関係のある集団「氏」に、地位や役職を示す「姓」を与えるというもの。
- ... 大仙古墳は、墓としては世界で一番面積が大きい。



【アプリ版のご紹介】中高生の日本史

壬申の乱、壇ノ浦の戦い、六波羅探題、建武の新政、元禄文化、桜田門外の変、、日本史を学ぶ上で絶対に抑えておきたい重要事項を、時代の流れに沿って収録。はじめから順に解いていくことで、日本史の大きな流れを記憶することができます。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の漢文

次の白文の、下線部の読み方は？ 国破山河在
(A) あらんやさんが (B) さんがあり (C) さんがあらず (D) あるはさんが